



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月1日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社
コード番号 2222 URL <https://www.kotobukispirits.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）河越 誠剛
問合せ先責任者 （役職名）常務取締役グループ経営管理本部長 （氏名）松本 真司 TEL 0859-22-7477
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	16,976	9.3	3,439	0.3	3,472	0.7	2,303	1.7
2025年3月期第1四半期	15,526	12.1	3,428	12.1	3,447	11.8	2,265	9.5

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 2,304百万円（1.0%） 2025年3月期第1四半期 2,281百万円（9.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	14.92	—
2025年3月期第1四半期	14.56	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	48,308	37,450	77.5	242.59
2025年3月期	51,980	40,085	77.1	259.67

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 37,447百万円 2025年3月期 40,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	35.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	35,950	9.3	8,270	10.6	8,305	10.4	5,520	10.6	35.76
通期	79,670	10.1	19,650	11.6	19,720	11.5	13,400	10.5	86.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	155,658,402株	2025年3月期	155,658,402株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,295,797株	2025年3月期	1,295,797株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	154,362,605株	2025年3月期1Q	155,595,530株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の経営成績の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、雇用・所得環境の改善などにより、持ち直しの動きが見られました。一方で、高額品を中心にインバウンド消費の減速が一部に見られるとともに、物価上昇を背景に、消費者の節約志向が高まり、商品・サービスに対する選別の目は厳しさを増す状況で推移いたしております。

このような状況のもと、当社グループは、持続的な成長を目指すべく、中長期経営目標「Value Up Vison2030」を本年5月に公表し、「お菓子の総合プロデューサー」をビジョン（Vison）に掲げ、美味しさと地域性を追求した「プレミアムギフトスイーツ」の創造と育成に注力いたしております。また、経営理念をベースとした「全員参画による超現場主義経営」の徹底実践を成長テーマに位置づけ、目標突破に向けて各種の事業施策に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16,976百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は3,439百万円（前年同期比0.3%増）、経常利益は3,472百万円（前年同期比0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,303百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

従来、「シュクレイ」及び「九十九島グループ」は、それぞれ独立セグメントとしておりましたが、2025年4月1日付で実施した連結子会社間の組織再編（会社分割）に伴い、当第1四半期連結会計期間より統合し、セグメント区分を「シュクレイグループ」に変更いたしており、以下の記載における前第1四半期連結累計期間との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。また、「寿製菓・但馬寿」としていた報告セグメントの名称を当第1四半期連結会計期間より「寿製菓グループ」に変更いたしております。

① シュクレイグループ

シュクレイグループは、主力ブランド「東京ミルクチーズ工場」のリブランドの第一弾として本年6月に看板商品のリニューアルを実施いたしました。また、「ザ・ドロス」では新定番商品「サンドクッキー（マスカルポーネ&ヘーゼルナッツ）」や期間限定商品「レモンケーキ（マスカルポーネ&アーモンド）」を発売するなど、各ブランドにおいて主力商品を軸に季節限定などの新商品を順次投入し、ブランド訴求力の向上に努めました。長崎エリアでは、令和6年度「ながさき手みやげ大賞」を受賞した「九十九島せんべいフィナンシェ」の販売強化、また、「タンテ・アニー」を本年6月、ハウステンボス本店開設以来、初となる常設店を長崎駅に出店（ブランド変更を伴う移転）いたしました。インバウンド対策では、国際線ターミナルでの売場拡大に向け、販売人員の増強や「抹茶ちとせ」商品の拡販などに注力いたしました。出退店では、本年4月、JR新宿駅構内ニューマン新宿に「キャラメルゴーストハウス」を出店するなど、1店の出店及び1店の退店を行いました。その結果、売上高は8,079百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は1,306百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

② ケイシイシイ

「ルタオ」を擁するケイシイシイは、国際線ターミナルでの売場拡大に向け、販売人員の増強や提案営業の推進などのインバウンド対策を強化するとともに、ブランド価値を高めるための諸施策を推進いたしました。各直営店では、主力商品を軸に新作限定スイーツを順次投入し、通信販売では、母の日などの季節イベント対策を推進いたしました。また、本年4月に「ルタオ新千歳空港店」のリニューアル、同年6月には、「ルタオ」のポイント制度のリニューアルを行い、店舗とオンラインショップとの相互連携を図りました。「ナウオンチーズ」などの首都圏ブランドでは、ブランド認知度を高めるため、期間限定出店に注力いたしました。その結果、売上高は4,891百万円（前年同期比10.6%増）となり、営業利益は869百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

③ 寿製菓グループ

寿製菓グループは、主要代理店や販売子会社とのタイアップを密にし、主力商品対策や売場提案、新商品開発などの提案営業を推進いたしました。販路拡大では、沖縄市場において、OEM展開や自社ブランド「ニューキュー」の展開強化などに取り組みしました。地元の山陰地区では、主力商品「因幡の白うさぎ」の販売強化や「お菓子の壽城」及び「カノザ」の展開強化に注力いたしました。また、本年5月30日から6月15日に開催された「第28回全国菓子大博覧会・北海道」に出展し、山陰地区で展開している主力商品をアピールいたしました。その結果、売上高は3,818百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は835百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

④ 販売子会社

販売子会社は、各販売拠点において主力商品対策及び地域特性にマッチした新商品の発売などに注力いたしました。エリア別では、東海地区は、季節限定新商品「伊勢寒桜水まんじゅう」の発売、関西地区は、主力商品「大阪はちみつクワトロフォルマッジ」の販売強化などに取り組みしました。また、福岡地区では、10周年を迎えた「博多まっかな苺」ブランドの展開強化を推進しました。その結果、売上高は1,779百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は208百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

⑤ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれております。売上高は100百万円（前年同期比24.3%減）となり、営業損失は13百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、48,308百万円となり前連結会計年度末と比べ3,671百万円減少いたしました。

主な要因は、現金及び預金の減少（3,126百万円）、受取手形及び売掛金の減少（1,535百万円）、商品及び製品の増加（620百万円）、有形固定資産の増加（301百万円）などによるものです。

負債は、10,858百万円となり前連結会計年度末と比べ1,036百万円減少いたしました。

主な要因は、流動負債におけるその他の増加（1,707百万円）、未払法人税等の減少（2,140百万円）、賞与引当金の減少（538百万円）などによるものです。

純資産は、37,450百万円となり前連結会計年度末と比べ2,635百万円減少いたしました。

主な要因は、配当金の支払いによる減少（4,939百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加（2,303百万円）などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント増加し77.5%となり、1株当たり純資産額は242円59銭となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、本資料発表日現在におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回公表数字（2025年5月13日付「2025年3月期決算短信」）からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,081	22,954
受取手形及び売掛金	7,400	5,864
商品及び製品	2,882	3,503
仕掛品	155	413
原材料及び貯蔵品	913	780
その他	216	170
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	37,649	33,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,980	4,986
機械装置及び運搬具（純額）	2,934	3,001
工具、器具及び備品（純額）	425	427
土地	3,026	3,067
リース資産（純額）	11	10
建設仮勘定	141	328
有形固定資産合計	11,520	11,821
無形固定資産	108	106
投資その他の資産		
その他	2,707	2,699
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,702	2,694
固定資産合計	14,331	14,622
資産合計	51,980	48,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,169	2,214
1年内返済予定の長期借入金	300	300
未払金	1,575	1,455
未払法人税等	3,327	1,186
賞与引当金	1,222	684
その他	1,141	2,848
流動負債合計	9,735	8,690
固定負債		
退職給付に係る負債	1,916	1,926
その他	242	241
固定負債合計	2,158	2,167
負債合計	11,894	10,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,263	1,263
資本剰余金	1,368	1,368
利益剰余金	40,274	37,638
自己株式	△3,006	△3,006
株主資本合計	39,900	37,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54	47
為替換算調整勘定	25	41
退職給付に係る調整累計額	101	94
その他の包括利益累計額合計	182	183
非支配株主持分	2	2
純資産合計	40,085	37,450
負債純資産合計	51,980	48,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	15,526	16,976
売上原価	5,811	6,670
売上総利益	9,715	10,305
販売費及び一般管理費	6,287	6,865
営業利益	3,428	3,439
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	3	3
受取地代家賃	12	12
受取保険金	0	8
その他	8	8
営業外収益合計	24	34
営業外費用		
減価償却費	0	0
その他	4	0
営業外費用合計	5	1
経常利益	3,447	3,472
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	4	2
特別損失合計	4	2
税金等調整前四半期純利益	3,443	3,469
法人税等	1,177	1,166
四半期純利益	2,265	2,303
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,265	2,303

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,265	2,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△7
為替換算調整勘定	5	15
退職給付に係る調整額	△5	△7
その他の包括利益合計	15	0
四半期包括利益	2,281	2,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,281	2,304
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	297百万円	368百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	シュクレイ グループ	ケイシイシイ	寿製菓 グループ	販売子会社	計
売上高					
外部顧客への売上高	7,202	4,296	2,184	1,709	15,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	310	126	1,174	31	1,643
計	7,513	4,423	3,359	1,740	17,037
セグメント利益	1,506	868	652	215	3,242

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	132	15,526	—	15,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1,643	△1,643	—
計	132	17,170	△1,643	15,526
セグメント利益	0	3,243	184	3,428

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外（台湾）における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額184百万円は、当社とセグメントとの内部取引消去額519百万円、セグメント間取引消去額6百万円、棚卸資産の調整額△19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△321百万円であります。全社費用は主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	シュクレイ グループ	ケイシイシイ	寿製菓 グループ	販売子会社	計
売上高					
外部顧客への売上高	7,739	4,801	2,588	1,746	16,876
セグメント間の内部 売上高又は振替高	340	90	1,229	32	1,692
計	8,079	4,891	3,818	1,779	18,568
セグメント利益 (△は損失)	1,306	869	835	208	3,218

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	100	16,976	—	16,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	1,692	△1,692	—
計	100	18,668	△1,692	16,976
セグメント利益 (△は損失)	△13	3,205	234	3,439

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外（台湾）における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益（△は損失）の調整額234百万円は、当社とセグメントとの内部取引消去額552百万円、セグメント間取引消去額7百万円、棚卸資産の調整額△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△321百万円であります。全社費用は主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益（△は損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

従来「シュクレイ」及び「九十九島グループ」は、それぞれ独立セグメントとしておりましたが、2025年4月1日付で実施した連結子会社間の組織再編（会社分割）に伴い、当第1四半期連結会計期間より統合し、セグメント区分を「シュクレイグループ」に変更しており、前第1四半期連結累計期間との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。また、「寿製菓・但馬寿」としていた報告セグメントの名称を当第1四半期連結会計期間より「寿製菓グループ」に変更いたしております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。